

平成30年度

兵庫県立視覚特別支援学校

支援部

アイ・あい だより



6月号

## 季節の変化を楽しみましょう！

日差しの強さと気温の上昇が夏の到来を予感させるようになってきました。それでも、梅雨が始まり、雨が降ると肌寒い日々が戻ってきます。雨の日々に退屈を感じるのではなく、雨の中の世界を観察したり、雨のファッションを楽しんだりしてみましょう。



## 第1回 保護者交流会について

教育相談に来られている保護者のみなさんとの交流を深めるために、保護者交流会を計画しております。

日時 平成30年7月3日(火) 10:00~12:00

対象 本校の教育相談に来られている保護者

内容 保護者のお話・交流会など

みなさま、ぜひご参加ください！



## サマースクール

日時 平成30年7月25日(水) 10:00~12:15

受付 9:30~9:45

対象 教育相談に来られている幼児児童生徒及びその保護者

参加費 100円(保険料等)

締切 7月10日(火)

※子供さんは本校の先生と一緒に遊びます。

幼児用の浅いプールもあります。プールで思いっきり遊びましょう！



## 点字の歴史



ルイ・ブライユ

前回、バルビエが考案した点字の原型となる縦6点・横2列からなる12点式点字がパリの盲学校へ紹介されたことをお伝えしましたが、今回はその12点式点字が、より触りやすく実用的なものへと改良が加えられていった経緯について紹介していきます。

<6点式の点字>

バルビエの持ち込んだ12点式点字は、今まで使っていた活字の浮き出し文字より読みやすく、書きやすかったため、パリの盲学校の生徒たちは夢中になりました。確かに、活字を浮き出させて読むためには、1文字1文字が大きないと触って認識できませんが、点と点の組み合わせで表現する点字では1文字がコンパクトに紙の上に収まりますね。

しかし、その生徒の中でもルイ・ブライユだけはバルビエの12点式点字の決定的な弱点に気付いていました。それは、バルビエの12点式点字は、指を移動させないと12点すべてを認識することができないという点です。縦に6点もあるということで、1文字を認識するのに指を縦に大きく動かす必要があり、その動作のロスタイムにより、長文を速読するのに適さないと見抜いたのです。そこでブライユは、指先に1文字が収まるほどのサイズが適切だと考え、現在の点字の縦3点・横2列からなる6点式点字が最適なサイズだと考えました。周囲の盲学校の生徒は12点式点字の登場により満足していましたが、瞬時に弱点と解決策を思いつくところは素晴らしいですね。

さらに、6点式にすることで、新たにアルファベットや数字の表記法を考案する必要がありましたが、1825年、なんと彼がまだ16歳の時にそれらを完成させました。

視覚障害者にとって書くにも読むにも使いやすいブライユ式点字でしたが、フランス国内では、点で表現されたものが公式な文字だと認めるには抵抗があり、一時は盲学校でのブライユ式の点字の利用を禁止されたこともあったそうです。やっとフランスで公式の文字として採用されたのは、ブライユが亡くなってから2年後の1854年のことでした。このブライユさんに敬意を表して、点字は「braille」(英語読みではブレイル)と呼ばれるようになりました。

次回は日本語表記の点字の普及の歴史について紹介します。